資料４
（第 50 回監視円卓会議）

前回までの課題に対する報告等について

前回までの監視円卓会議においていただきました課題に対する対応状況を次のとおり報告します。

なお、報告の詳細については備考欄に記載した各資料をご参照願います。

指摘等内容	回　　答	備　考
○JESCO 登録数及び処理進捗の推移について 【第 49 回（R２．２.20）での課題】	登録量と処理量の累積量の推移を時系列で示すグラフを作成しました。	別添１
○活性炭吸着試験について 【第 48 回（R 元.12.16）以前からの継続課題】	制御された流速条件のもと、実機の状況と近い状態で活性炭の吸着現象を確認するため当初施設内に設置した試験装置の概要と試験実施状況を報告します。 参考:本件試験の背景・経緯 ・ 当初施設では排ガス中の PCB を除去するために、オイルスクラバーを設置するとともに、セーフティーネットとして活性炭吸着槽を直列に2段設置している。 ・ 第1系統排気において活性炭吸着槽内（定期点検の運転停止中にサンプリング）の活性炭への PCB 吸着量が、上流側よりも下流側で高くなる傾向が続けて(H23,H24)確認される。 ・ 原因究明のため、実験室でのカラム試験を実施し、洗浄溶剤（NS-230）も多く吸着されていることを確認 ・ 改めて、実際に使用されている活性炭吸着槽から活性炭を上・中・下流側から採取し濃度分布を確認したところ、PCB のほか、洗浄溶剤についても上流側よりも下流側で高くなる傾向を確認 ・ 実際に使用されている活性炭吸着槽では流速分布が複雑であり、数値のバラつきも非常に大きく、原因究明は困難であることから、実排ガスを用いたカラム試験を実施することとした。	別添２

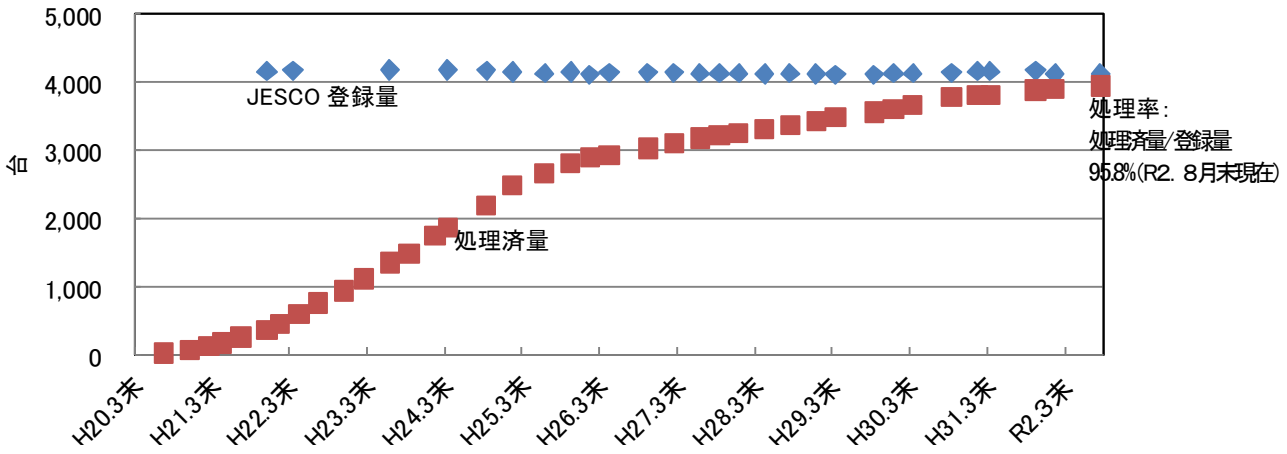
資料４　別添１
（第 50 回監視円卓会議）

JESCO 登録数及び処理進捗の推移について

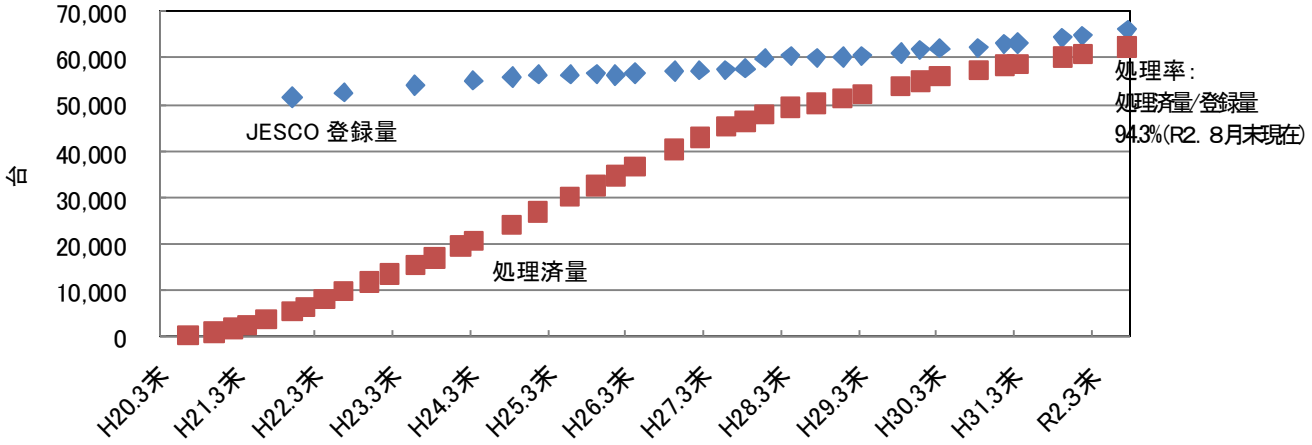
今まで監視円卓会議で開催直近の進捗状況を報告してまいりましたが、今まで報告してきた登録量と処理量の推移を時系列でグラフ化しましたので次のとおり報告します。

１　当初施設分（変圧器類・コンデンサー類）

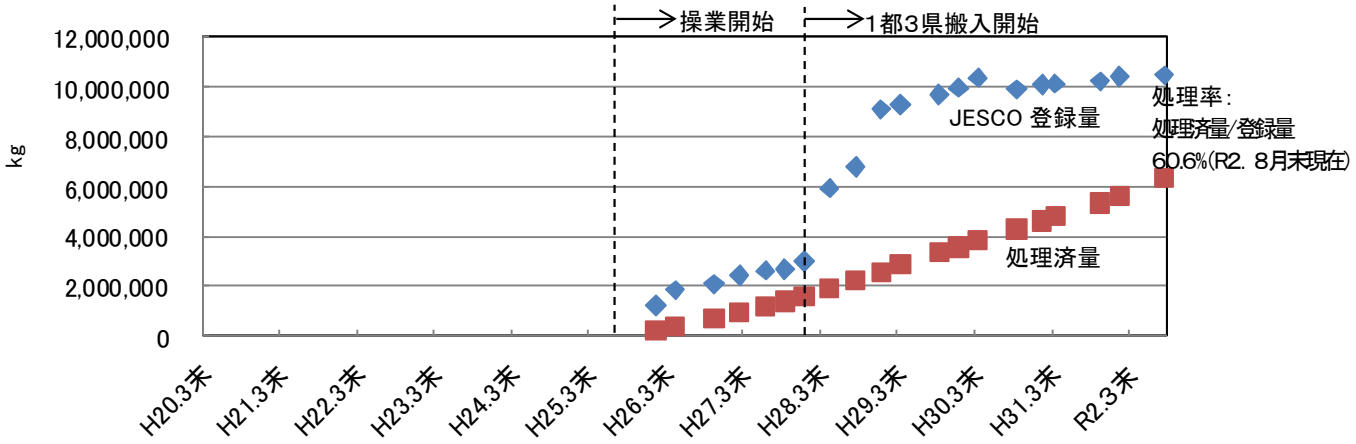
（１）変圧器類



（２）コンデンサー類



２　増設施設分（安定器及び汚染物等）



資料　4　別添2
（第 50 回監視円卓会議）

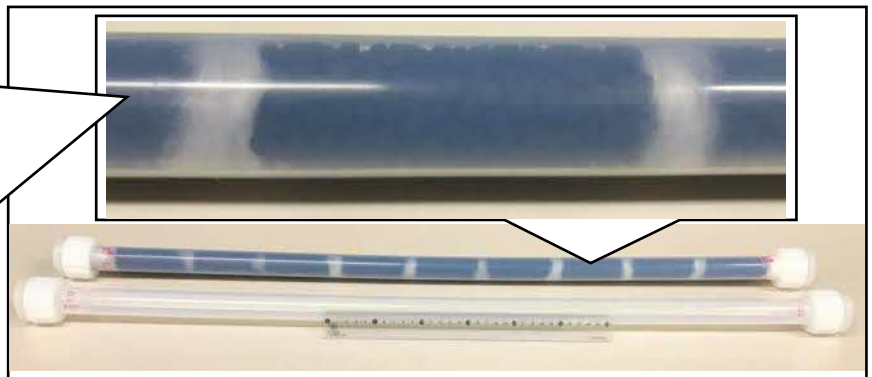
当初施設内における活性炭カラム吸着試験について

1　概要

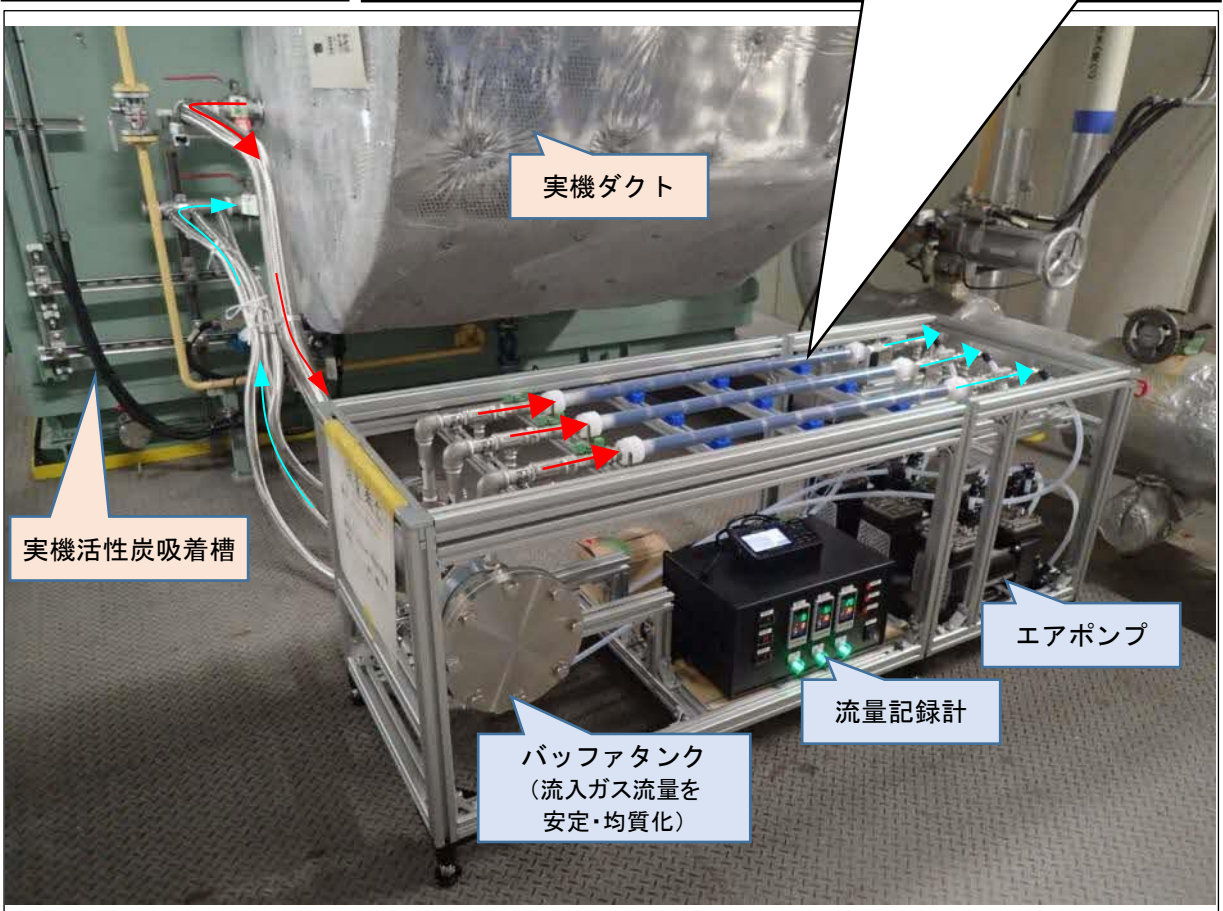
第 48 回（R 元. 12. 16）監視円卓会議において、実機での活性炭吸着槽での測定結果を報告したが、流速分布や吸着量バラツキが多いものであった。そこで、流速を任意に制御しやすいカラム（細い管）に活性炭を充填して、実機と同様の状況（流入ガスや活性炭層厚）を再現した吸着試験を実施するため、当初施設内に試験装置を設置し、現在試験実施中であるのでその内容を報告する。

2　試験装置の設置状況

活性炭
（白鷺 PRAC-1：ヤシ殻炭）



使用カラム（テフロン製）
手前：充填前
奥側：充填後（実機と同じ活性炭層厚として石英ウールで9分割）



試験装置：実機活性炭吸着槽への流入排気を実機ダクトから分岐して、カラムに導入
（（赤矢印が流入側、水色矢印がカラムからの流出後）流量は３本のカラムを独立して設定可能）

3　試験実施状況

流量を３段階（実機の流速範囲をカバー）に設定して 3/25 から通気開始、９月の定期点検まで通気後、カラムから活性炭を回収して吸着量等を測定し、カラム出入りガス濃度との関係等を調査予定。